



恵那市

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



第2回恵那市地域医療ビジョン 恵那モデル実施計画策定委員会資料



恵那市公式キャラクター エーナ

令和6年10月31日
医療福祉部地域医療課



目 次

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



1. 前回の振り返り

- (1) 第1回策定委員会における委員の意見整理
- (2) 作業部会の設置及び役割

2. 各作業部会の中間報告

- (1) 作業部会での検討内容
- (2) 作業部会について
- (3) 中間報告

資料1

資料2

資料3

資料4

資料5

3. 今後の取り組み





1. 前回の振り返り

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



(1) 第1回策定委員会における委員の意見整理





1. 前回の振り返り

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



■ 作業部会について

- 作業部会の設置のところで各部会のメンバー組織について、具体的に誰がやっていくということが決まっていますか。
- 医療人材部会について、地域包括ケアシステムとありますが、高齢福祉課が運営している地域包括支援センターと重複しないよう連携はとっていくということですね。地域包括支援センターの医療版ということですか。
- 技術・ICT部会で、医療のICT化とありますが、医療現場として電子カルテやオンライン診断、診察というのは普及しているのか、恵那市地域医療ビジョンの中で今後、導入されるという方向にありますかその辺りの情報がありましたら教えていただきたい。
- 基本理念に“つながる、つなげる”と書いていますが、情報がつながることはいいのですが、医療体制が広域になった時に大事なことはそこに行くとか、来てもらうとかいうことです。そこで交通のことも部会で考えていかないといけないと思います。
- 先生たちが情報共有し、診療所、病院で待っていても患者が来ないのは困るので、行きたい時にいけるように考えていく部会がいるのではないかと思います。
- また、部会の上にもう一つ、CEOみたいな統括する人がいるのではないかと思います。

■ 医療MaaSについて

- 医療MaaSについて長野県の伊那市はすでに導入してますが視察しましたか。また、視察した場合、何が問題点か、それに向けてどうしたら良いか確認した方が良いと思います。
- 医療MaaSは1台あったらこの広い恵那市を走り回って、1日に何人ぐらい診れるのでしょうか。





1. 前回の振り返り

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



■ 公立医療機関の運営

- 将来の国保診療所等の診療日・診療時間一覧イメージ図ですが、よく分からないところがあるので住民の方の意見など、いろいろ聞いていただきたい。このイメージは、今ある診療所を残した状態で、診療日は月水金になりますという形になっています。住民は遠くても良いので毎日そこに行けるという望んでいるのか、どうかを知りたいです。
- 私たちのイメージで言うと、飯地、笠置、中野方で診療所が1つしかなくてもいいけど、毎日、開いている方が大丈夫なのかどうかの意見を聞きたいと思います。現行、飯地診療所は毎日開いているので、ありがたいと思って行きます。例えば市立恵那病院でもいいので、そこへ連れて行ってもらえる、毎日開いているから大丈夫だよという方が分かりやすい。
- 上矢作病院であると上矢作町の人口はどんどん減っていますが外来患者は1日60人程います。地域から入院、外来の需要があるという病院です。それを踏まえてどのように減らしていくかとベッドの数も含めて検討するのが一番妥当だと思います。

■ 地域医療ビジョン・恵那モデルの推進

- 「地域医療ビジョン・恵那モデル」を計画に沿って進めていくわけなので、課題はその都度出てくると思います。ただ、後戻りはしない方向で一応の方向性が決まっておりますので、この土台、骨組みについていかに、皆さんの意見を集約して肉付けして恵那モデルの実施に向けていければいいかなというように思っています。
- 近い将来にビジョンの達成に向けて通院の手段について取り組んでいかなければいけないと思います。そのため市の交通政策課の方でバスの路線変更なども検討していく必要があります。
- 課題はその都度、積み残しにするのではなく、ある程度のところまで解決していくことが必要です。
- 私たちの委員会では公立医療機関について、将来の方向性を検討して、恵那市における地域医療が十分な機能が発せられるよう、医療にかかる必要ができた時は、安心して受けられるような体制を作っていく。恵那市はどこへ行っても医療が丁寧に受けられるという恵那モデルを広く周辺にも知っていただけるような形で進めていければと思っています。





1. 前回の振り返り

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



(2) 作業部会の設置及び役割





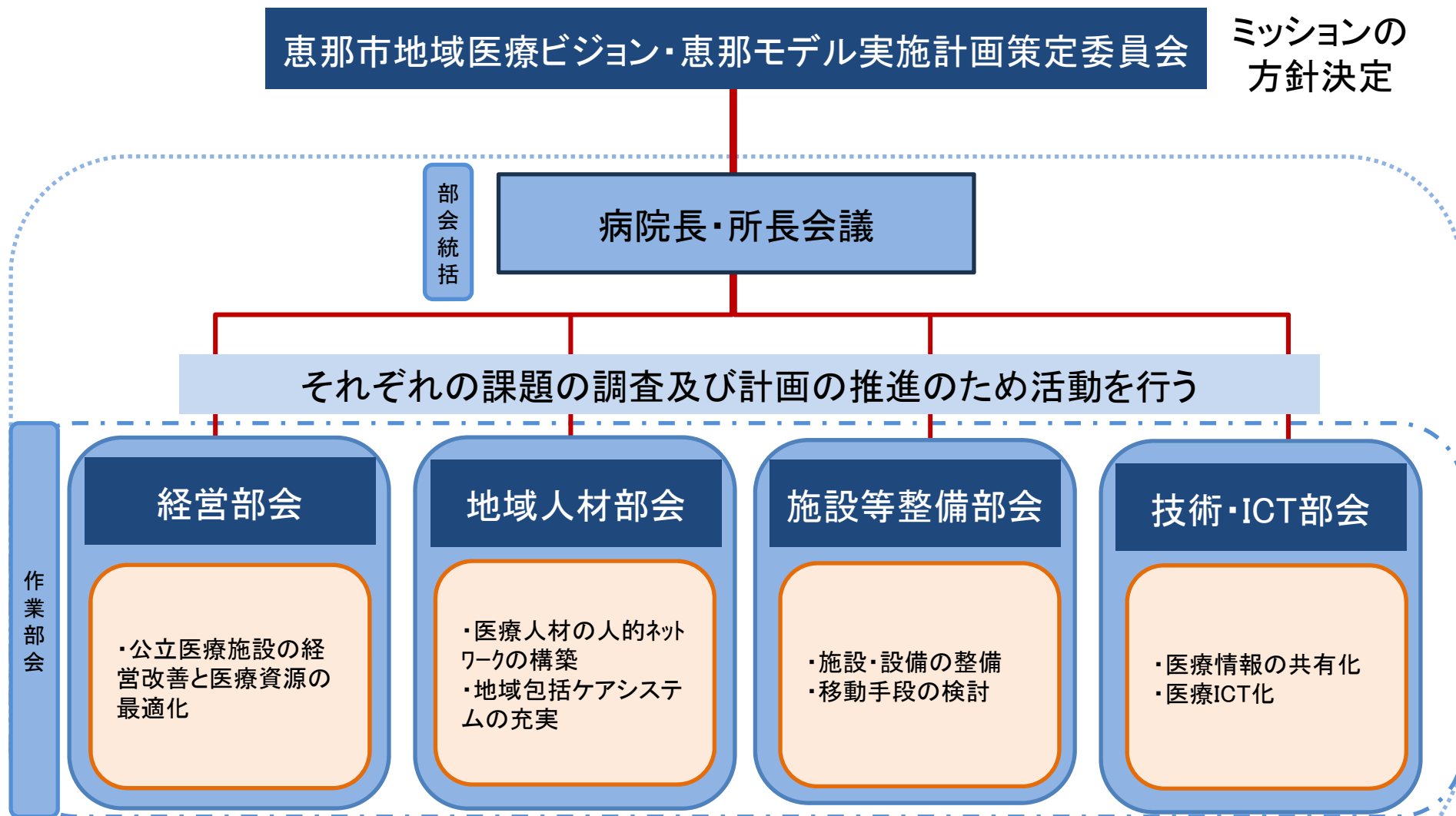
1. 前回の振り返り

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



■ 作業部会の体系図





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



(1) 作業部会での検討内容





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



経営部会

3 公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化

方向性

- 人口動態による医療ニーズの変化、施設の老朽化、医療従事者の確保状況に応じ公立医療機関のダウンサイジングや効率化について検討する
- 地域医療構想等調整会議を注視し内容等を検討する
- 救急医療の機能分化・強化について検討する

検討

- 既存の公立医療機関を継続・維持する一方、規模や機能に合った診療日及び診療時間等の見直しを行う
- 国保上矢作病院は地域医療構想等調整会議を踏まえ、病床数を見直す(ダウンサイジングを視野に)
- 各公立医療機関の医療機器等を規模や機能に合わせた再配置を行う
* 各診療所の契約、経理及び庶務等の事務処理については、既に一元化している
- 医療資源を活用した市民の健康づくりの啓発を行う
- 将来に向けた恵那市と隣接する中津川市と広域による医療提供体制を検討する
- 途切れのない救急医療の提供体制を検討する





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



地域人材部会

1 医療人材の人的ネットワークの構築

方向性

- 市内の複数の診療所を複数の医師及び医療従事者で支えるなど、医療従事者の共有化を図る仕組みを構築する
- 市内外の医療機関と連携を強化し、医師や医療従事者の確保に向けた取り組みを行う

検討

- 現在の1診療所に1人の医師の体制から、人的ネットワークによる複数の医師が複数の診療所で診療をする仕組みをつくる
- 各医療機関の規模や機能等を見直し、医療従事者の適正配置を行う
- 医療従事者（看護師、技師等）の休暇取得時の診療所間での支援体制をつくる
- 大学附属病院等の非常勤医師が複数の医療機関で診療可能な仕組みを検討する
- 新興感染症や大規模災害時における対応可能な体制づくりを検討する
- 運営主体が異なる医療機関、福祉施設の法人化も一つの手法として視野に入れ、医療従事者の人事交流ができるか検討する

4 地域包括ケアシステムの充実

方向性

- 医療・介護・福祉が連携し、市民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括ケアシステムの充実に向けた医療体制を検討する
- 在宅医療・在宅介護等に向けた医療サービスの充実を図る

検討

- 医療・介護・福祉の連携のさらなる強化を図る
- ICTを活用した医療・介護・福祉の情報共有・管理について検討する
- 訪問看護、訪問診療の充実を図る





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



施設等整備部会

5 施設・設備の整備

方向性

- 老朽化した施設・設備の建替え若しくは改修を行い、快適な医療施設を整備する
- 通院困難者への通院検討

検討

- 国保上矢作病院及び国保岩村診療所の施設の建替え若しくは大規模改修工事に伴い、将来の医療ニーズ、患者数の動向、収支などの経営状況等を見据えた施設規模や機能を検討する
- 慢性期の医療を提供する介護施設等を検討する
- 医療機関への移動手段





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



技術・ICT部会

2 医療情報の共有化

方向性

- 医療情報のデジタル化を推進し、医療機関間における情報の共有化を図る
- オンライン診療に向けたシステムを整備し、患者の利便性の向上、業務の効率化を図る
- 超高齢化が進み在宅介護・在宅医療を必要とする方の増加が見込まれる中、医療機関に來れない方に向けた移動診療車(モバイルクリニック D to P with N)の導入を検討する

検討

- 医師がどの公立医療機関にいても、患者情報が確認できる仕組みをつくる
- 各公立医療機関に共通の電子カルテシステムを導入し、医療情報のネットワーク化を図る
- 地域の集会所等を活用し、公立医療機関からオンラインで診療できるシステムをつくる
- 患者の通院負担を軽減するため、移動診療車(モバイルクリニック D to P with N)の導入を検討する





2. 各作業部会の中間報告

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



(2)作業部会について

(3)中間報告

別紙資料参照

資料1

資料2

資料3

資料4

資料5





3. 今後の取り組み

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



○今後の作業部会の検討事項

病院長・所長会議

- ・各部会及び合同作業部会の意見集約

経営部会

- ・各医療機関の経営シミュレーションの作成
- ・医療機器の再配置の検討
- ・市民の健康づくりの啓発活動の検討
- ・途切れのない医療提供体制の検討
- ・市立恵那病院(中核的医療機関・2次救急医療機関)との連携体制の調整
- ・将来に向けた東濃東部地域(恵那市・中津川市)の広域的な医療提供体制の検討

地域人材部会

- ・診療所の人的ネットワーク構築の検討
- ・新興感染症若しくは大規模災害時における体制づくりの検討
- ・運営主体が異なる医療機関・福祉施設等の法人化の検討
- ・ICTを活用した医療・介護・福祉の情報共有管理について検討





3. 今後の取り組み

基本理念

生命と健幸を守る つながる つなげる
安心して暮らせる エーナ地域医療



○今後の作業部会の検討事項

施設整備部会

- ・慢性期の医療を提供する介護施設等の検討
- ・医療機関の移動手段について検討

技術・ICT部会

- ・医療MaaS(移動診療車)の導入について検討

合同作業部会

- ・国保上矢作病院の今後の方向性について検討

